

## 海外安全対策情報（2021年4月～6月）

### 1 社会・治安情勢

ウガンダでは、携帯電話の窃盗や夜間の住居侵入、強盗などが頻繁に発生しており注意が必要です。特に、夕方以降暗い時間帯の徒歩移動、人通りが少ない路地、外国人が少ない地区などは犯罪に巻き込まれやすいので避けてください。オレオレ詐欺に類似した事件も発生しており注意が必要です。

新型コロナウイルスの感染状況は、5月中旬より新規感染者が急増しています。感染拡大を受け、ムセベニ大統領は、6月18日より公共交通機関の運行停止、夜間外出禁止、集合商業施設の閉鎖止など規制を厳格化しました。この42日間にわたるロックダウンにより収入が減少し、ますます治安が悪化することが懸念されます。報道によると身代金を目的とする子供の誘拐殺人事件や窃盗事件などが発生しています。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪

#### (1) 邦人被害事案

発生しておりません。

#### (2) その他の注意すべき事案

##### ア カラモジャ地区

継続してモロト県やナカピリピリ県などのカラモジャ地区において牛泥棒と治安当局間で銃撃戦となり死者が多数出ています。

##### イ カンパラ市

6月初旬にカトゥンバ元労働運輸省大臣が車両で移動中にバイクに乗った賊に銃で襲撃され運転手と同乗者（娘）が殺害されました。逮捕された容疑者は、テロ組織アルカイダとの関係性を疑われています。

##### ウ ウガンダ全域

公共の場でマスクを着用しない場合、ロックダウンの規制に従わない場合は、警察に逮捕されます。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

ウガンダに関して、テロ・爆弾事件は2010年7月以降発生していません。しかし、2019年4月に発生したスリランカの同時爆発事件をはじめ予期なく発生する誘拐・脅迫・テロ等の不測の事態に巻き込まれることがないよう、渡航情報及び報道等により最新の治安・テロ情報等の入手に努め、

日頃から危機管理意識を持つとともに状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。

#### **4 誘拐・脅迫事件発生状況**

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していません。しかし、ウガンダにおいては人身売買および身代金を目的とした子供、女性の誘拐事件が多数発生しており邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中の夜間移動は控え警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

#### **5 日本企業の安全に関わる諸問題**

書類の偽造や詐欺事件などが発生していますので取引の際は慎重な審査、調査を行ってください。事務所、自宅への侵入事件が多発しており居住エリアの選定において、周囲の治安情報を収集しソフトターゲット（防犯能力が低く狙われる対象）にならないよう、セキュリティがしっかりした物件を選び、入居後も侵入が容易な場所はないか定期的にチェックし警備レベルの維持向上に努めてください。

以上